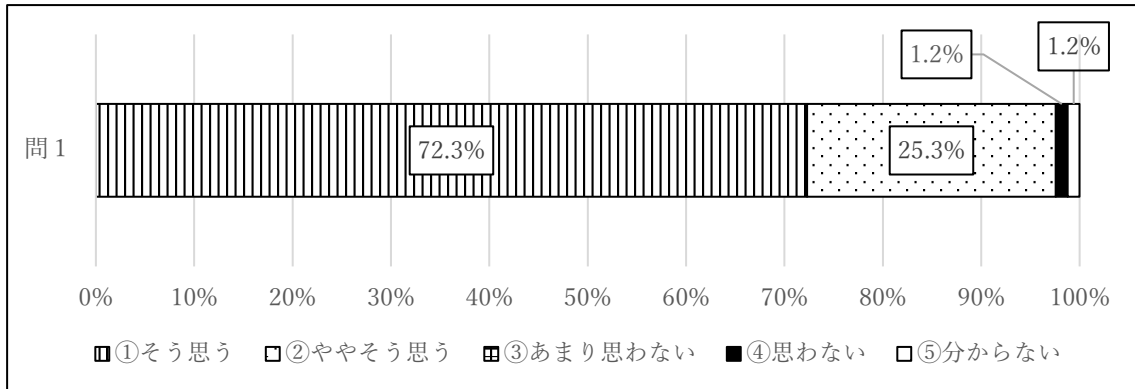
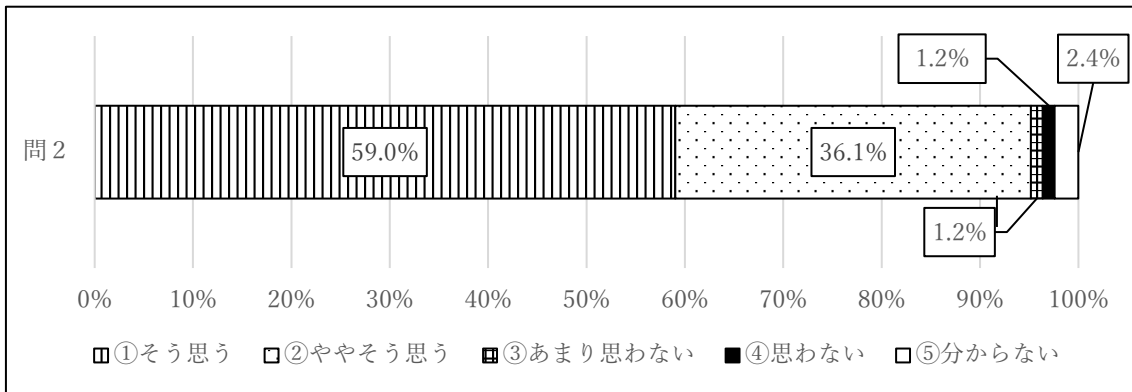


令和3年度 学校評価アンケート（保護者）結果

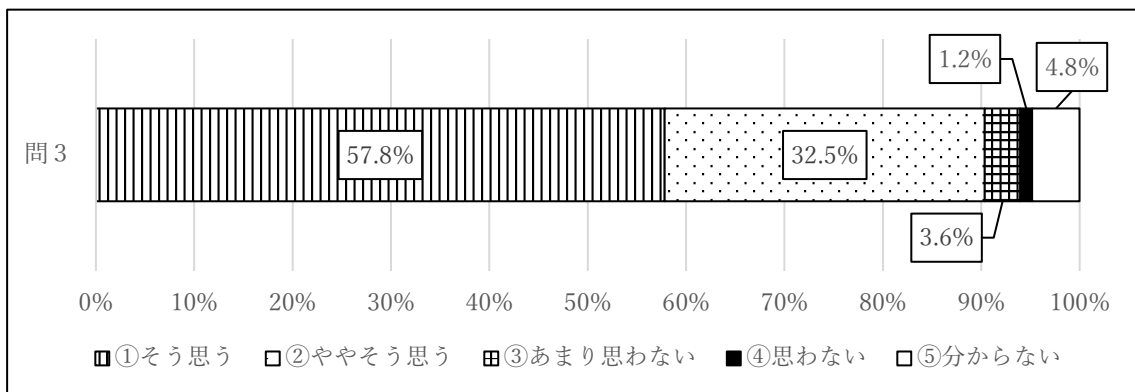
問1 お子さんは、学校が楽しいと感じていると思いますか。



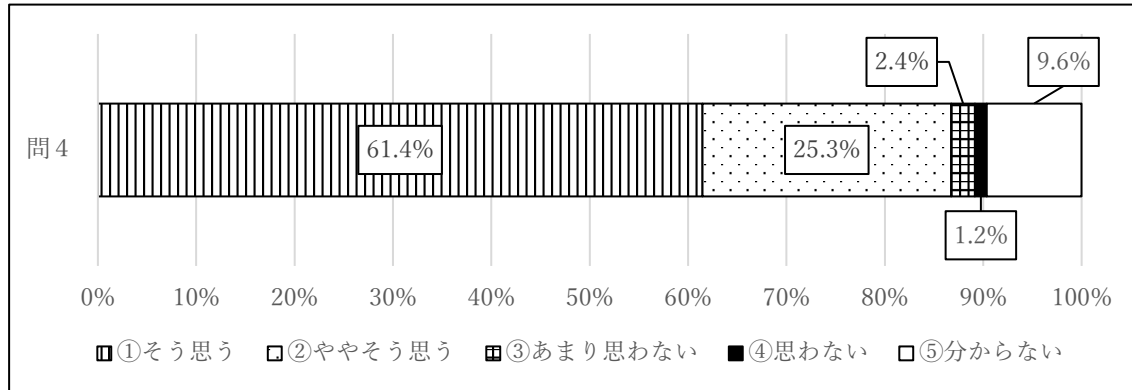
問2 あなた（保護者）は、学校の教育に満足していますか。



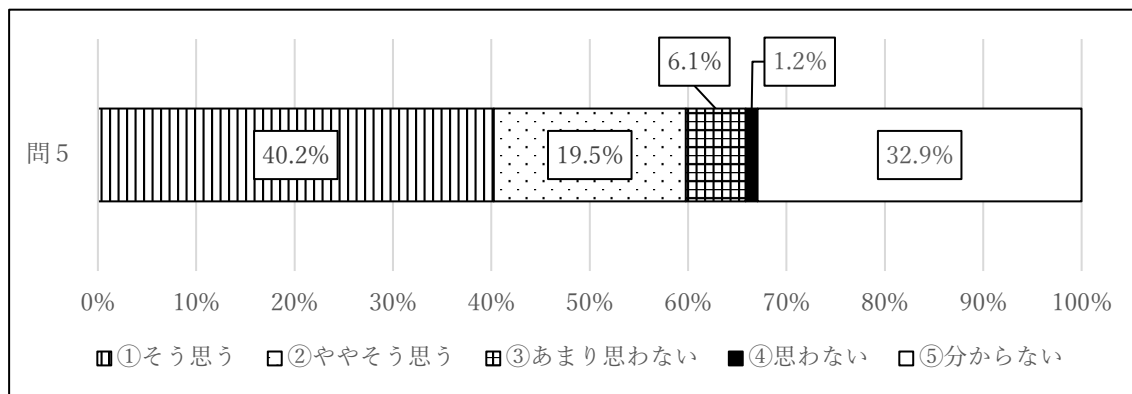
問3 教職員は、お子さんの興味・関心や長所を生かした学習や活動をしていると思いますか。



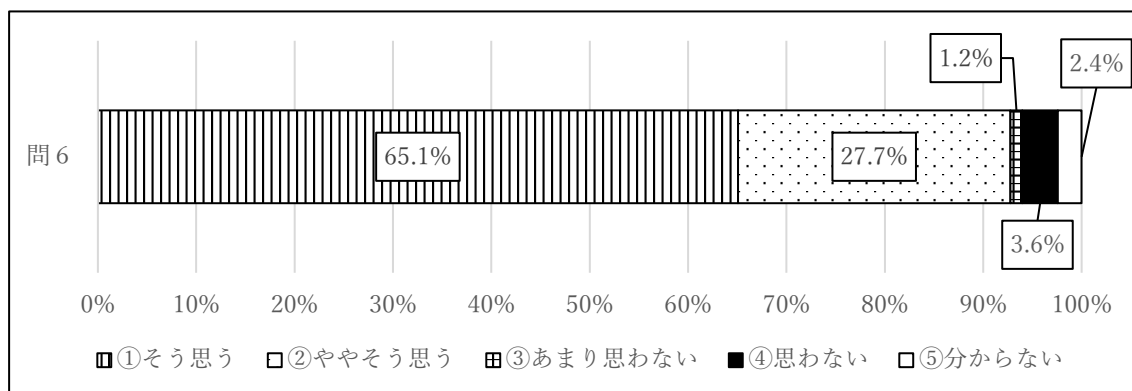
問4 教職員は、教材や教具の工夫をして授業を行っていると思いますか。



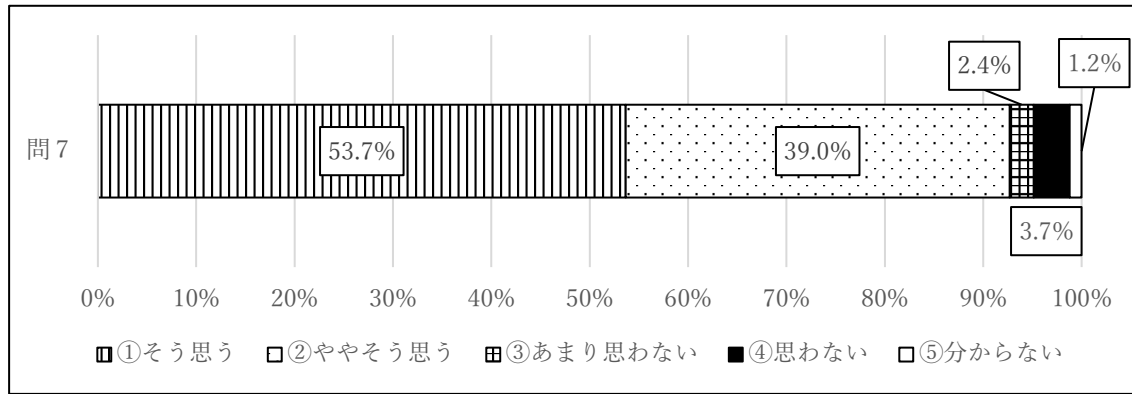
問5 教職員は、ICTを活用し、お子さんに分かりやすい授業をしていると思いますか。



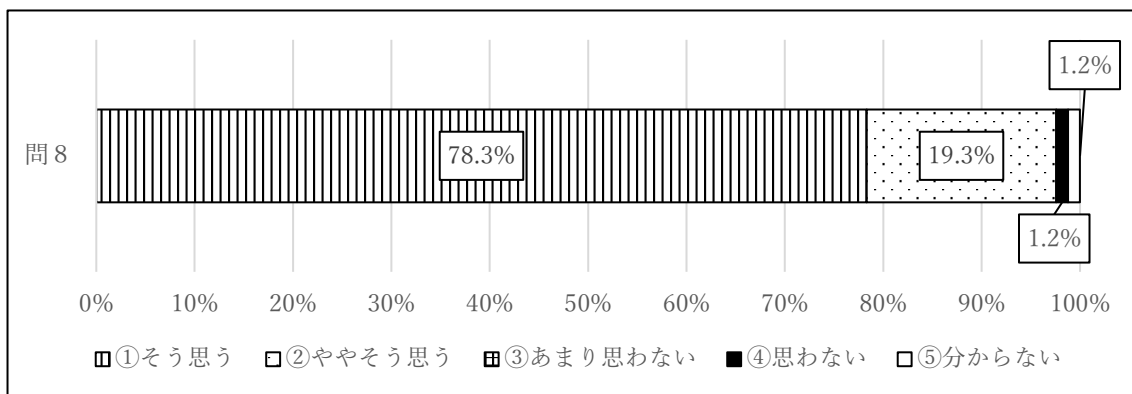
問6 教職員は、お子さんの実態に応じた学習内容を選定し、個別の指導計画を作成していると思いますか。



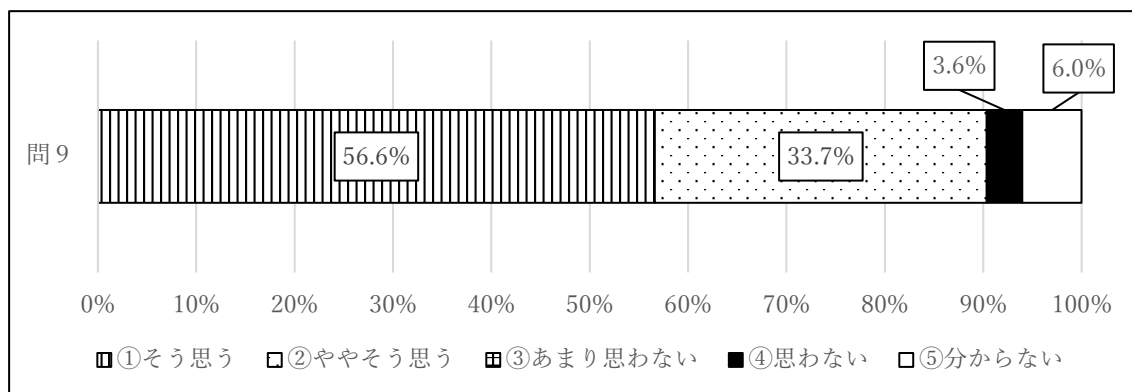
問7 学校は、「進路研修会」や「進路の手引き」、「進路だより」などで進路に関する情報提供を十分に行っていると思いますか。



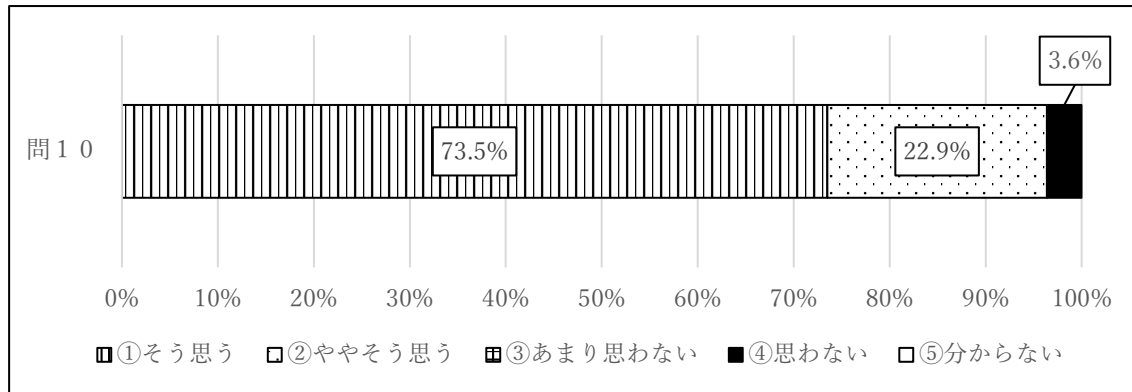
問8 教職員は、防災学習や避難訓練などを通して、お子さんの命と安全を守る教育を推進していると思いますか。



問9 学校は、施設設備などお子さんの安全面に配慮していると思いますか。

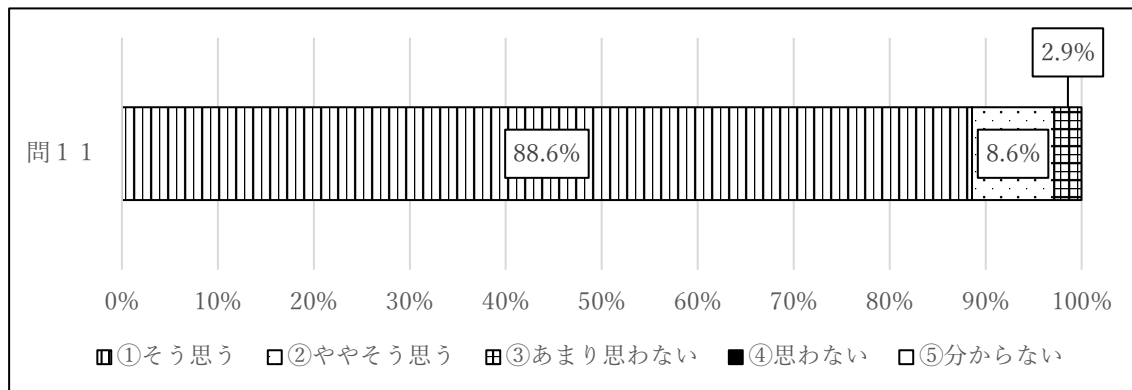


問10 教職員は、適切な態度でお子さんやあなた（保護者）に接していると思いますか。

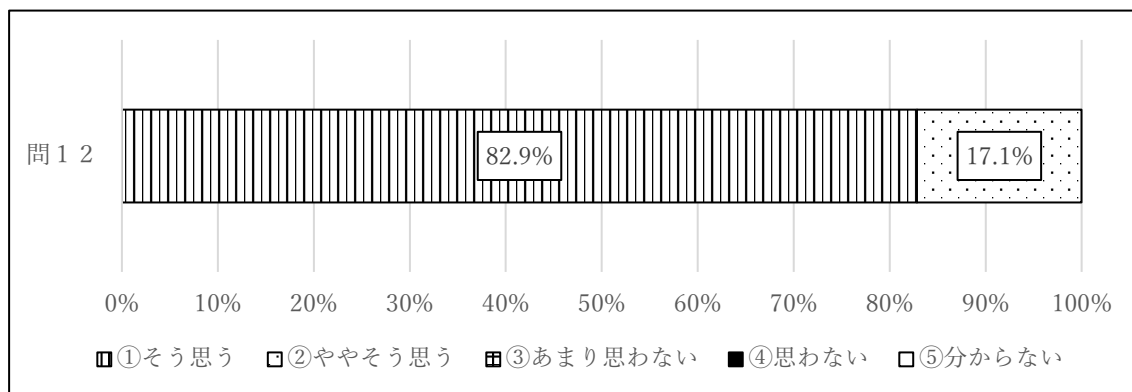


問11から13までは寄宿舍生保護者対象

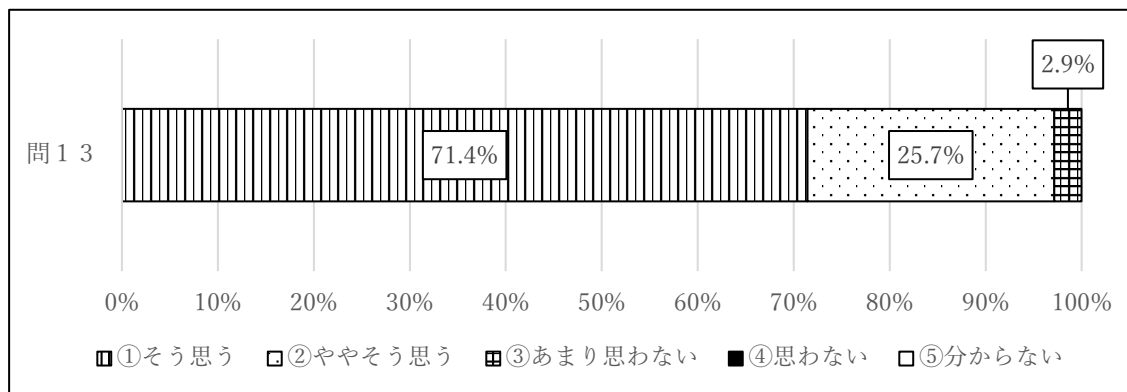
問11 寄宿舍生は、寄宿舍の生活に満足していると思いますか。



問12 寄宿舍指導員は、あなた（保護者）の連絡や相談、質問などについて、適切に対応してくれていますか。



問13 学級担任と寄宿舎指導員は、連携が取れていると思いますか。



問14 学校全体を通して何かお気づきの点があればご記入ください。

【学習活動について】

- コロナ禍ではあったが、校外学習が全くなかった。他学部では校外学習や宿泊学習が実施されていたので未実施には疑問を感じる。最終学年だったので修学旅行に代わる何らかのものが実施されればよかった。
- 宿題を出して欲しいと要望したが、ほとんど出されなかった。
- 学習内容が一年間あまり変化がなかった。
- 連絡ノートで教員との連携も取れ、子どもの様子もよくわかる。「学校」と毎朝聞いてきて、楽しそうに行き、日々言葉も増えてきているので成長を感じている。
- 授業を参観し、授業前の細かな打ち合わせや練習を教員が行っていると感じた。情報共有、学校訪問支援への協力、子どもの特性の理解や助言がありがたい。

<学校から>

- ・ 感染症対策による行事の中止、縮小等へのご理解、ご協力ありがとうございました。修学旅行等については、できるだけ何らかの代替行事を計画して対応するよう検討していましたが、一部の学部について実施予定時期の関係等から、宿泊施設の確保や万一の体調不良時等の対応について十分な対策が困難であると判断し、宿泊学習の実施は断念しました。しかしながら、当該学年では、感染状況を踏まえつつ、卒業に向けて子どもたちが皆で協力し、これまでの学習の成果を生かす活動の場を設定できるよう計画をすすめているところです。今しばらくお時間をいただければと思います。
- ・ 宿題や学習内容については、十分にお応えできず申し訳ありません。来年度には教科の視点を重視した新しい教育課程で取り組んでいきます。各教科等の目標・内容に沿って、一人一人の発達段階、学習の習熟度などを考慮して指導計画を作成し、成長を確認しながら支援していけるよう目指しています。新たな取組となりますが、少しでも早く児童生徒の成長につながる取組となるよう努めていきたいと考えています。宿題を含めた学習内容へのご要望などについても学習のねらいとリンクさせて考えながら、児童生徒、保護者のニーズに応えていく必要があると考えます。ご意見、ご要望を学校全体で共有し、可能な改善に着手できるよう努めます。

【ICT活用について】

- ICT活用については具体的に説明がなく、活用状況が分からない。
- ICTを余暇の時間等に使用していることは知っているが授業等の状況は分からない。

#### <学校から>

- ・ アンケート全体をとおして、最も「分からない」という回答が多い（33.3%）内容でした。授業参観の機会が少なくなりましたことでもあります。学校が重点的に取り組んでいるものの一つであるにも関わらず、情報発信がほぼ無かったことが原因であると思います。これまでの小・中学部に加え、高等部生徒用に一人一台の端末が配置されましたので、来年度に向けて、一層取組を強化するとともに担当部署を中心に、学校での取組の様子などを定期的にお知らせできるよう検討しています。

#### 【児童生徒支援について】

- 学習面では満足しているが、長期休業前に持ち帰った歯ブラシ、コップが不衛生な状態で残念だった。口に入れるものなので心配だ。
- 子どもたちの様子は時によって変化すると思う。教職員も保護者も先入観をもたず、既成概念にとらわれず子どもたちを見守り指導して欲しい。保護者にも調子の悪いとき、気持ちの沈むときがある。広い目で見守って欲しい。

#### <学校から>

- ・ 衛生管理や安全確保、児童生徒の心情やその時々体調などに応じた支援は学校として欠かせない対応です。保護者の方への対応も同様です。ご心配をお掛けすることがないよう、ご意見を学校で共有し、注意を払っていきたいと思います。

#### 【保護者との連携について】

- 個別懇談会の時間が30分と決められている。教員の話や説明だけで終わってしまうので、事前に個別の指導計画を読んでおけるようにして欲しい。
- 入学して良かったと実感できない。学校で必要な準備物等の説明が不十分で、用意したものが使えなかったことや、手持ちのもので良いと言われた水着について、華美との理由から柄や形など後から細かく指定され、高価なものに買い替えなくてはならないこともあった。持ち物や服装など基準を明確に示して丁寧に説明し、保護者が余裕をもって準備できるようにして欲しい。また、特定の教員であるが、母親が大変なのは当たり前、頑張るのは当たり前といった古い価値観で接する者がいる。母親の負担や苦勞に配慮し、寄り添った対応がなされていない。学校全体で今の時代に応じた考え方を取り入れて欲しい。

#### <学校から>

- ・ 個別の指導計画については、本年度から県立特別支援学校で統一された新しい様式で作成を始めました。教員もこの様式に十分慣れておらず、作成作業や点検に手間取り、懇談直前までかかってしまった状況もありました。来年度に向けて作成のスケジュールを見直し、必要に応じて事前にお示しできないか検討したいと思います。
- ・ 新入学に際し、丁寧な説明が行われていなかった、また保護者の方のお気持ちに配慮が足りない対応があったとのご指摘、申し訳なく思います。ご意見を参考により丁寧な説明ができるよう新・転入者や合格者の登校日などの説明内容を確認します。また、保護者の方との対話の中でお気持ちを傷つけてしまうこと、負担・不安を感じさせてしまうということはあってはならないことです。特定の教員によるもののご指摘ですが、不注意で、あるいは言葉が足りず、結果的にそのようなことになってしまうということは、どの教員にも起こりえることです。学校として一部の者の失敗ととらえず、一人一人の教員が自分の問題として保護者の方への接し方について振り返り、改善すべき点は改善していくよう呼びかけていきます。

#### 【関係機関連携について】

- 保育所等訪問支援が出来ている事業所と出来ない事業所があるが理由は何か。

- 保育所等訪問事業を利用したいが、学校等の共通理解が図れないとのことで実施できていないので実施して欲しい。
- 参観行事に関係機関が参加できる基準やタイミングを知りたい。

#### <学校から>

- ・ 保育所等訪問支援事業については、厚生労働省のガイドラインに沿って事前に学校との協議が必要となっています。この協議が完了した事業所から順次実施していますが、一部の事業所について、この事前協議の調整中に新型コロナウイルス感染症の拡大があり、中断していました。その後、双方の連絡に行き違いがあり滞っておりましたが、年度末が近付いてきたこともあり、事業所、学校がお互いに声を掛け合い、2月に初回実施できることになりました。事業実施が滞っていた保護者の方には、大変お待たせをしました。今後にもつながる取組となるよう、事業所とも一層の協力体制を築いていきたいと思っております。
- ・ 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえた教育活動や外部関係機関を含む来校者の受け入れ可否などについて、本校では、県教育委員会からの各種通知、文部科学省の『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～』を参考に「高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安」のステージごとに対応方針を定めて対応しています。また、対応方針上、不可としている場合についても、緊急性や必要度なども考慮して例外的に可とするケースもありました。  
しかし、学校としても繰り返し起こる感染拡大と長期化などにより、外部専門家、関係機関等との連携が取りにくい状態は適当ではないと考えますので、感染症対策を行いながら、できる限り実施していけるよう柔軟な対応に見直していきたいと思っております。

#### 【スクールバスについて】

- スクールバスのバス停は、駐車場所が確保できるところに設定して欲しい。

#### <学校から>

- ・ スクールバスの運行にあたり、保護者の方の駐車できる場所が確保できることが理想ではありますが、残念ながらバス停付近の商業施設等においても、許可いただけないのが現状です。公共施設等においても管理上の問題から許可を得られるケースが少なく、現在のところ、送迎の保護者の方の駐車について許可を得られている施設等は全コース中、5箇所のみとなっています。駐車場の確保を前提としてバス停やコースを設定した場合、大幅なバス停の廃止、コースの変更をせざるを得ず、単独通学や車を利用しない家庭から通学する児童生徒の登下校に支障となるおそれがあります。ご不便をお掛けしますが、ご理解、ご協力をお願いします。

#### 【事務関係について】

- 集金を銀行振り込みにして欲しい。舎生は額も大きいので早急に対応願いたい。
- 通学費の支給が例年に比べ遅かったので、遅くなる旨の通知があれば良かった。

#### <学校から>

- ・ 学習に必要な物品等の教材費や舎費の集金については現状のとおりですが、給食費、舎食費については、令和4年度からゆうちょ銀行の自動払込に変更することになりましたので、よろしくをお願いします。
- ・ 事務処理上の都合により、本年度の支給が遅くなり、ご迷惑をお掛けしました。ご指摘のとおり、例年と支給時期が異なる場合はお知らせするよう留意します。

学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。

保護者の皆様から、たくさんのご意見等をいただきました。お子様の成長、学習の成果

を実感していただけたというありがたい言葉、学校の取組に対するお褒めの言葉をいただく一方で、様々な改善へのご要望、至らぬ点へのご指摘、お叱りの言葉もいただきました。要望を伝えても改善されないという厳しいご意見もありました。ご意見やご要望の中には実現まで時間が掛かってしまうこと、学校内だけで解決できず調整や準備が必要なこと、少しずつ継続することで成果を挙げていく必要があることなどもあろうかと思えます。場合によっては、どうしても解決できないこともあるかと思えます。しかしながら、学校として、改善できる点については、少しでも児童生徒や保護者の皆様のご期待に応えられるよう、教職員一同、創意と工夫を重ねながら取り組み、より良い学校づくりに努めていきたいと思えます。今後とも、ご理解、ご協力をお願いいたします。